



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

（第二九六号）

清明 せいめい

四月五日

春光

季節のことばに、「春光」しゅんこうがあります。明るくやわらかな日の光のこと。今年の「歌会始」うたかいはじめの御題は「光」。歌会始御題にちなんだ「光」展を神宮美術館に見てきました。

神宮美術館は文化勲章受章者や文化功労者など当代一流の作家からの奉納作品などを展示しています。平成五年の創設時は九十点ほどだったのが、二十五年を経た今では四百点を超えるように。この三月まで地下の収蔵庫の空調設備工事を行い、さらに展示室の照明をすべてLEDに替え、照明の光の色も調整できるようになりました。

また、天皇陛下御即位三十年を祝い、平成の「御大礼」を描いた作品も展示。即位礼、大嘗祭、だいじょうさいそして即位後初めて伊勢神宮へ参拝した「親謁の儀」しんえつがお顔までそっくりに描かれていました。写真とはまた異なり、一連の儀式の雰囲気や儀式に臨まれる緊張感が伝わってきました。今年は「御大礼」が行われるだけに、興味が増します。四月十八日は、退位を前にした両陛下が伊勢神宮へ来られますが、これは三十年前にはなかったことです。

神宮美術館では今、「霊峰富士と日本の四季」展が開かれています。収蔵品には、横山大観が昭和十七年に描いた富士山も。大観は富士山を千枚以上描いた画家。大観は富士の形をうつすのではなく、「富士にうつる自分の心を描く」と述べていました。

後世の私たちは、富士の画を通して画家の心を見ているのです。開館二十五周年を迎えた神宮美術館で、伊勢神宮の奉納美術品にふれてみてはいかがでしょうか。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○ 五十鈴川桜まつり

日本人の習いと楽しみを受け継いだお花見をおかげ横丁で。五十鈴川の桜を愛でながら、うらかな春のひとつときをお過ごし下さい。

と き / 4月上旬 (桜の見頃の時期に合わせて)
ところ / 五十鈴川野遊びどころ一帯

● 花見屋台

田楽、団子、お酒、花見料理などの風流な屋台が並びます。また、満開時の週末を中心に夜間営業も予定しています。

と き / 4月上旬 (桜の見頃の時期に合わせて)
19:00~21:00 (雨天中止)

● 夜桜のライトアップ

日没より、五十鈴川野遊びどころから新橋周辺の夜桜をライトアップします。風のない日は、五十鈴川の水面に映る美しい桜もお楽しみください。

と き / 満開の頃 19:00~21:00

※雨天時は中止させていただく場合もあります。予めお問い合わせの上、お越しください。

● 春の特別奉納芸能

五穀豊穡を祈り、和太鼓の演奏を披露します。

と き / 4月6日(土)、4月7日(日) 14:00~、19:00~
ところ / 五十鈴川野遊びどころ特設会場
入場料 / 無料
出演 / 4月6日(土)和力、7日(日)和太鼓集団 志多ら

五十鈴塾

○ 「山桜香」を楽しむ

白雲のたなびく山の山桜 いづれを花とゆきて折らまし

京極前関白太政大臣 藤原師実

(白雲のたなびく高い山の山桜、花はどこかと探しながら登って行って、この手で折りたいものだが、どれが花かと迷うことだろうよ)

花見の時期は過ぎてしまいましたが、三つの香り「遠山」「白雲」「山桜」、それぞれの香りで優雅に桜狩りを楽しみましょう。奥深く神秘的な香りを放つお香には、香りを楽しむだけでなくさまざまな効果があることがわかっています。時には人生を大きく変えるほどの力になってくれる香り。ぜひお気軽に参加して、前向きなパワーを取り込んで、より質の高い暮らしを送りましょう。

と き / 4月12日(金) 18:30~20:30

講師 / 東 堯霞 (香道御家流三條西宗家直門師範)

参加費 / 一般5,650円 会員5,150円

(香筵料・食事代・お茶・お菓子代含む)

集合 / 五十鈴塾右王舎

※お問い合わせ・お申込み 0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 節気菓子

はないかだ
花筏

川面に舞い降りた桜が、岸辺に着かず離れず、筏のように浮かび、流れにまかせて漂い続ける。古人がその景色に見惚れ、詠んだ言葉が花筏。粒餡を求肥で包み、その上に桜の姿をとどめて、花のなごりに心を残す思いをこめました。

じんぐう
神宮つつじ

かの西行が、神路山の岩根に見たという、つつじ。今年も神宮の一画で、そのつつじが花を咲かせます。木々の緑と、赤いつつじが見せる鮮やかな色彩の対照を、きんとんで表現しました。

こちよう まい
胡蝶の舞

神宮では神恩への感謝とともに、民福を祈念するため、毎年四月、春の神楽祭が行われます。神苑に朱塗りの舞台をしつらえ、古式ゆかしく演じられる『胡蝶の舞』。その装束の美しさを、白餡と羊羹を使い、お菓子のかたちで写し取りました。